

鉄道技術標準化の必要性について

1. 標準化の必要性

鉄道事業者が具体的な仕様を定める際に引用できる規格を整備することにより、信頼性や安全性向上、利用者サービス向上、環境保全の進展等、事業の発展に寄与。

2. 国際規格対応の必要性

国内の各種システムや考え方が国際規格に盛り込まれない場合、メーカーにおいては国際規格に準拠していない製品の国際競争力の低下、鉄道事業者においても国際規格に準拠していない製品の調達が困難になり、新技術の導入が阻害されたりコストが増加するといったおそれ。

3. 国内規格との整合の必要性

国際規格が発行された場合、国内の強制・任意規格の制定や改定を行う際、国際規格を基礎とすることがWTOのTBT協定(貿易の技術的障害に関する協定)で義務化。

従って、国内の優れたシステムを維持する上からも、日本の鉄道システムを規格の形で海外に発信することが重要。

鉄道技術標準化調査検討会は、平成12年10月に、鉄道関係の国際規格を審議する諸団体の活動支援を目的として設置しました。事務局は、国土交通省、(財)鉄道総合技術研究所、(社)日本鉄道車輛工業会が担当しています。